

中四国初のNTT西日本グループ・NTTドコモグループ合同防災訓練について

～南海トラフ巨大地震を想定した初動応急復旧訓練～

2015年6月2日

NTT西日本四国事業本部・中国事業本部、NTTドコモ四国支社・中国支社では、今後発生が想定される南海トラフ巨大地震に備えて、災害時における共同連携能力の向上を図るため、合同訓練を実施します。

1. 訓練の概要

南海トラフ巨大地震により高知エリアが甚大な被害を受けた場合を想定し、NTTグループで連携し、通信孤立エリアの早期解消に向けた、情報連携訓練、応急復旧訓練(6月9日～6月11日)を実施します。

【主な訓練項目・日時(予定)】

- (1) 情報連携訓練 : 6月 9日(火曜)
- (2) 参集訓練 : 6月10日(水曜)
- (3) 応急復旧訓練 : 6月10日(水曜)
- (4) 訓練の振り返り : 6月11日(木曜)

※一般の方は入場はできません。

2. 訓練内容

- (1) 情報連携訓練: 被害状況の共有・復旧方法の決定・広域支援体制の確立
- (2) 参集訓練 : 被災地への移動参集・被災地での受入体制の確立
- (3) 応急復旧訓練: 避難場所への通信確保・通信途断エリアの応急復旧

3. 応急復旧内容

- ・多重伝送装置、災害対策用無線システムによるお客様収容装置の復旧
- ・小型衛星地球局による特設公衆電話設置
- ・移動電源車による通信設備ビルおよび基地局等への電源確保
- ・特殊車両(衛星エントランス移動無線基地局車等)を使った通信エリアの構築
- ・バケット車と移動無線基地局車を連携使用したエリアの構築
- ・NTT光ケーブルおよび、ドコモ基地局の被災を想定した早期サービス回復に向けた応急復旧作業

4. 場所

高知県立青少年センター 補助グラウンドおよび東駐車場(高知県香南市野市町西野303-1)

5. その他

天候等の影響により訓練を実施できない場合があります。

※天候の急変により、開始直前の判断となる場合もありますので予めご了承ください。

訓練出動車両等一覧(一例)他

■エリア応急復旧

〈出動車両〉

衛星エントランス移動無線基地局車

〈車両特徴〉

災害により、携帯電話の無線基地局が被災し、通サービスが提供できなくなった場合、衛星回線を利用し、応急的にサービスを復旧させ、通信の確保を行うための特殊車両。



■エリア応急復旧

〈出動車両〉

マイクロエントランス車

〈車両特徴〉

災害により光ファイバ等が断線、携帯電話の無線基地局が被災し、通信サービスが提供できなくなった場合に、本車両にて無線(マイクロ)回線の中継することにより、応急的にサービスを復旧させ、通信の確保を行うための特殊車両。



■エリア応急復旧

〈出動車両〉

移動無線基地局車

〈車両特徴〉

災害により、携帯電話の無線基地局が被災し、通信サービス提供ができなくなった場合に、応急的にサービスを復旧させ、通信の確保を行うための特殊車両。



■電源復旧

〈出動車両〉

移動電源車

〈車両特徴〉

災害により、携帯電話の無線基地局が長期に停電した場合、通信サービス提供ができなくなることから、応急的に電源の供給を行うための特殊車両。



■エリア応急復旧

〈出動車両〉

バケット車

〈車両特徴〉

移動無線基地局車のアンテナをバケット部分に取り付け、アンテナ高を最大28m(※移動無線基地局車では10m)まで嵩上げすることにより、携帯電話のエリアカバー範囲を広げることができる特殊車両。

※本車両は常時保有しておらず、必要な時にレンタルする。



■応急復旧

〈使用設備〉

小型衛星地球局 (ポータブル衛星装置)

〈特徴〉

災害などにより通信が利用できない場合、避難所に特設公衆電話を提供することが可能な衛星端末局。



■エリア応急復旧

〈使用設備〉

多重伝送装置(モバイルUMC)、災害対策用無線システム

〈特徴〉

モバイルUMCはお客様収容装置が被災したときの代替となる可搬型の装置。

災害対策用無線システムは、伝送路が被災したときの応急復旧に使用する可搬型の装置。

これらを組み合わせて孤立エリアの救済を実施する。



災害対策用無線システム

■電源復旧

〈出動車両〉

移動電源車

〈車両特徴〉

電力を供給する移動可能な発電装置。災害時、商用電源の長時間停電により、通信ビルや無線基地局の予備電源(バッテリー、エンジン)も枯渇する恐れがある場合に出動させる特殊車両。

